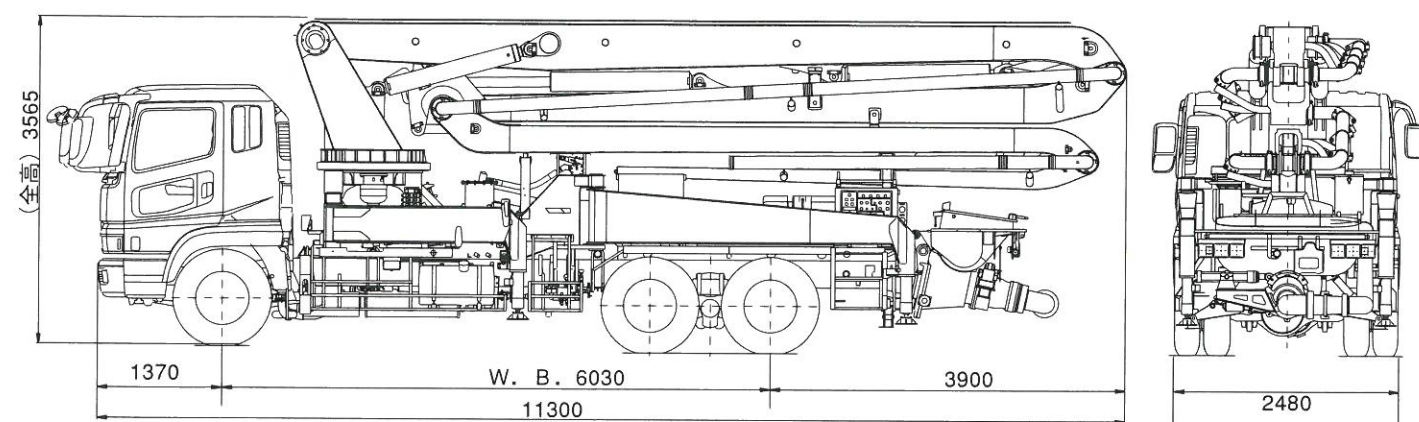


■外形図

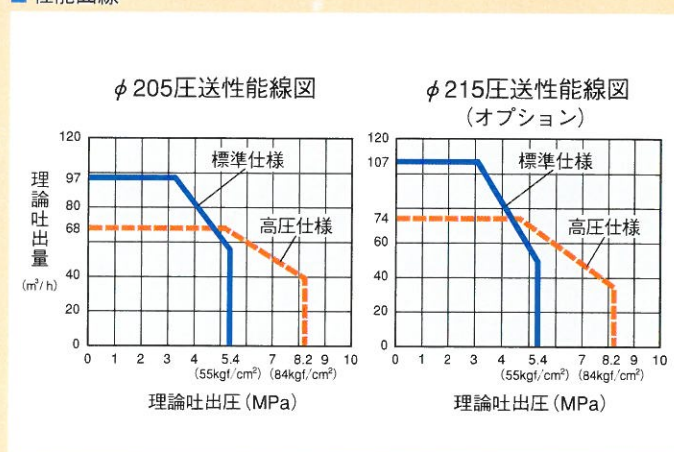


■主な仕様

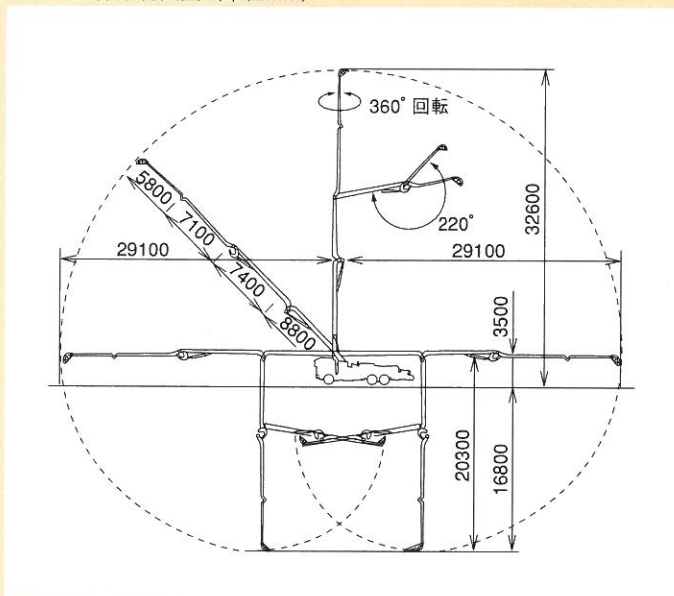
要 目		仕 様			
		コンクリートシリンダ 内径 φ205		コンクリートシリンダ 内径 φ215 (オプション)	
		標 準	高 圧	標 準	高 圧
性 能	最 大 理 論 吐 出 量	97m ³ /h	68m ³ /h	107m ³ /h	74m ³ /h
	最 高 理 論 吐 出 圧	5.4MPa (55kgf/cm ²)	8.2MPa (84kgf/cm ²)	5.4MPa (55kgf/cm ²)	8.2MPa (84kgf/cm ²)
ボ ン プ 本 体	残 コ ン ク リ ート 排 出 方 法	水洗式 (空洗兼用)			
	コ ン ク リ ート シ リ ン ダ 数	2本			
	シ リ ン ダ 内 径 × ス ト ロ ー ク 長	205mm×2,000mm		215mm×2,000mm	
	ホ ッ パ 容 量	0.45m ³			
	水 タ ン ク 容 量	450ℓ			
シ ャ ン	型 式	三菱KL-FV50MPY			
	ホ イ ル ベ ー ス	6,030mm			
	エ ン ジ ン 型 式	8M21			
	走行時エンジン最大出力／最高回転	272KW (370PS)／2,200rpm			
ブ ー ム 仕 様	ブ ー ム	全油圧M型4段屈伸式			
	最 大 長 さ	29.1m			
	最 大 地 上 高	32.6m			
	仰 角	No.1, -1° ～ 90° No.2, 0° ～ 180° No.3, 0° ～ 260° No.4, 0° ～ 220°			
	旋 回 角 度	360° 全旋回			
	ア ウ ト リ ガ	前後部共 油圧横開き、垂直油圧式			
	ア ウ ト リ ガ 張 出 寸 法	前部アウトリガ 6500/7400mm 後部アウトリガ 7,400mm			
	車 両 総 質 量	約21,965kg			

●この仕様は予告なく変更することがあります。

■性能曲線



■ブーム作業範囲図(単位mm)



業界トップの最高圧力で
余裕の高強度コンクリート圧送

フロントアウトリガ張幅を調節できるから
狭い現場で大活躍

標準装備の高低圧切替装置で
高低圧切替の操作性アップ

アウトリガ操作の
安全性確保

シンプルなコントロールパネルで
安全・簡単操作

使い易さに自信があります!!!

三菱独自のホッパー水洗とピストン背面圧を利用した
短時間でカンタン・確実な洗浄

吸入効率が低いバルブ構造で
確実に行える貧配合打設

開閉式のダイヤクリートバルブで
メンテナンス時間短縮

主要消耗部品の共通化で
コスト大幅削減



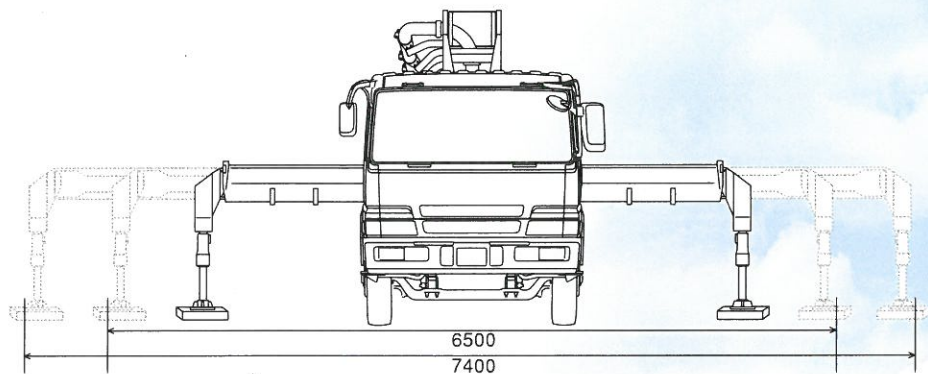
業界トップの最高圧力で

余裕の高強度コンクリート圧送

高压打設時の圧力は8.2/5.4MPa

フロントアウトリガー張幅を調節できるから

狭い現場で大活躍



フロントアウトリガー張幅を現場のスペースに対応させることで、狭い現場でも大活躍します。

通常7.4m、狭い現場では6.5mに縮めることが可能です。

標準装備の高低圧切替装置で

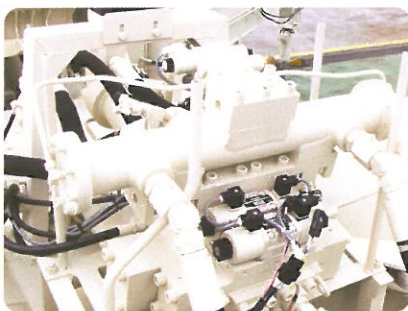
高低圧切替の操作性アップ

三菱独自の高低圧切替バルブ採用で、パネルのスイッチ一つで高低圧の切替が可能に。

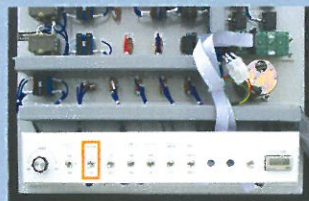
旧型



新型



コントロールパネル裏面



スイッチ一つで切替完了

高压切替

ON

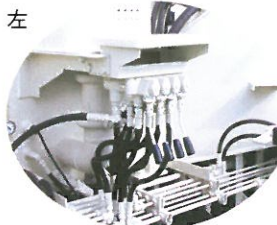
OFF

アウトリガー操作の

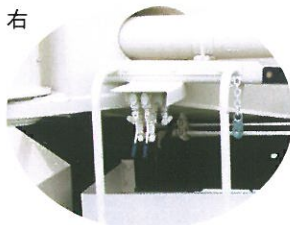
安全性確保

左側の集中操作と更に右側のみ単独操作も加わり、安全な張り出しが可能となりました。

左



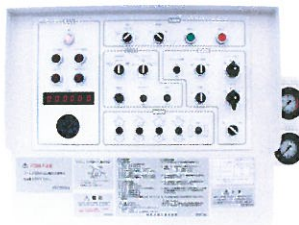
右



シンプルなコントロールパネルで

安全・簡単操作

経営管理データ
消耗部品交換の目安
打設量の把握に...



使用頻度の高いスイッチを前面パネルに表示し、非日常的に使用するスイッチはパネル背面に収納。デジタル吐出計の採用により、一目で進捗状況の把握ができます。

残コン
排出



スポンジ
注入



三菱独自のホッパー水洗とピストン背面圧を利用した

短時間でカンタン・確実な洗浄

安全確実なホッパー水洗(工法特許2125496号)で残コンを現場に出しません(残コン20L)。コンクリートが水に洗われ分離していますので、モータープールに持ち帰っても固まりません。

圧送圧力より高いピストン背面圧を利用した水洗で、水ポンプを使わず、短時間で洗浄可能です。

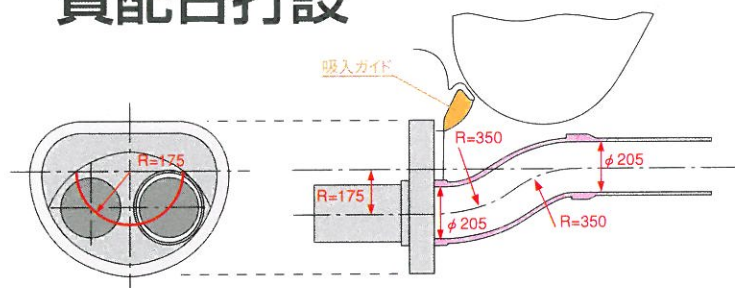


20L
ペール缶1杯



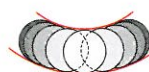
吸入効率がバルブ構造で

確実にできる 貧配合打設



駆動距離

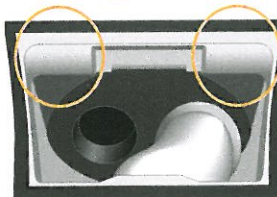
●当社 縦移動



●他社 横移動



吸入ガイド



開閉式のダイヤクリートバルブで

メンテナンス時間短縮

バルブハウジングが開くので、ウェアリングプレート・ウェアリング交換が、自家整備で簡単にできます。

ウェアプレート交換時間

約120分

ウェアリング交換時間

約10分

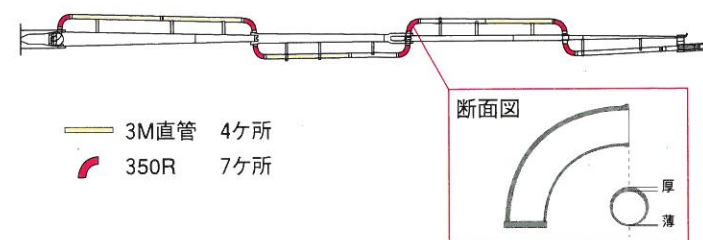


ダイヤクリートバルブ開口状態

少ない予備在庫で

コスト大幅削減

ブーム配管は3m直管と350Rの鋳物ベント管を基準としているので、メンテナンスが容易で、予備在庫が少なく済みます。更に、ベント管は機種共通に利用できますので、予備在庫の無駄がありません。ベント管R部の流速の速い外側は肉厚が厚く、ベント管内側が均一に磨耗するので寿命が長くなります。



1. 実用新案(第585147号)の吸入ガイドでエアを吸い込まないバルブ構造。
2. Sパイプ後方駆動により駆動軸がなく、Sパイプ内に邪魔物がないので、コンクリートが吸入口までストレートに入ります。
3. コンクリートシリンダーから吐出口まで絞りが付かない構造(φ205)のため、生コンの体積変化がなく、コンクリートの閉塞が少ない。
4. Sパイプの回転半径(175R)が小さいため、駆動距離が短くエアの吸い込みが少ない。
5. Sパイプ押圧自動調整(三菱特許 第1785598号)でリングとプレートとの隙間調整不要。